

つながり

「つながり」は、医療や介護に従事する皆様が、多職種に向けて自らの情報を発信し、互いに理解を深め、顔の見える関係を築くための連携ツールとして、季節の節目ごとの発行を予定しております。皆様からのご意見やご要望、ご提案など、是非、本センターまでお寄せください。お待ちしております。



明けましておめでとうございます



新年、明けましておめでとうございます。

月日が経つのは早いもので、「秋田市在宅医療・介護連携センター」開設から1年の節目を迎えることができました。ここ最近になって、センターが果たすべき役割やそのための事業の在り方などにも、どうか目鼻がついてきたように思いますが、この間、皆様から賜りましたご厚情とご支援に厚く御礼申しあげますとともに、本年も、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申しあげます。



末筆ではございますが、新年にあたり、皆様のご健康とさらなるご活躍を心よりお祈り申しあげます。

秋田市医師会
在宅医療担当理事 熊谷 肇

秋田市在宅医療・介護連携セミナーを開催しました



昨年12月1日(日)、秋田市文化会館大会議室で『秋田市在宅医療・介護連携セミナー』を開催し、70名の方にご参加いただきました。今回は秋田大学から安藤先生をお招きし、ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の概念に関する講話や、専用のカードを使った「もしバナゲーム」を行い、参加者全員が人生の最期を考える体験をしました。

お忙しい中ご参加いただいた皆様、本当にありがとうございました。

また今回は、会場の一角に飲み物とお菓子のコーナーを設け、セミナー開始前や休憩時間における情報交換の場としてたくさんの方々からご活用いただきました。



【第1部 多職種による高齢者の意思決定支援】

秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻 専攻長 臨床看護学講座 教授 安藤 秀明 先生

第1部は、秋田大学大学院医学系研究科 保健学専攻 専攻長 臨床看護学講座 教授の安藤秀明先生から『多職種による高齢者の意思決定支援』と題し、ACPの概念や手法についてご講話いただきました。ACP（アドバンス・ケア・プランニング：人生会議）とは、自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組のことです。（厚生労働省HPより）

安藤先生は、ACPは最期の迎え方を決めておくことと捉えられがちだが、ここでは『自分の価値観を話し合うこと』『分かってくれるのは誰かを決めておくこと』が大切だと話され、その上で、『自分の価値観を再確認すること』『早い段階で人と共有しておくこと』『話し合いを繰り返していくこと』の重要性などについて、強調されました。

また、高齢者へのアプローチとしては、『相手にちゃんと聞こえ理解できるよう、明確でゆっくりな口調で話す』『こちらの顔が見えるよう照明や面談位置にも配慮する』『長時間にならないよう1回の面談を短くして回数を多くする』『会話が困難な場合は今までの生活から推測する』などの配慮すべきポイントについてもご教示いただきました。

最後に、価値観を話し合うためには、第2部で行う「もしバナゲーム」を活用する方法や、高齢者へは懐かしい時代の写真を利用する方法など、ツールについてもいくつかご紹介いただきました。



秋田大学大学院医学系研究科 安藤 秀明 先生

【第2部 楽しく実践してみよう!】

第2部では、4人1グループになり「もしバナゲーム」を行いました。終末期に「大切にしたいこと」として人がよく口にする言葉が書かれたこのカード、自分はどれを捨ててどれを手元に残すか・・・!? 自身の想いの振り返り、他者との違い、新たな価値観との出会い・・・参加者それぞれが自分なりの気づきを得ました。



※連携センターで「もしバナゲーム」のカードセットを保管しております。職場や事業所の集まりなどで体験してみたい方は、連携センターにご相談ください。



「もしバナゲーム」とは?

自分の身体がどう変わっていくかを知る

信頼できる主治医がいる

家で最期を迎える

痛みがない

家族の負担にならない

お金の問題を整理しておく

もし、あなたが治療困難な病気で「あと半年から1年の命です」と言われたら、あなたは何を大切にしたいですか? もしバナゲームはカードに書かれた言葉から、自分が何を大切と思い、人生の最期をどう過ごしたいのか考えることができるゲームです。

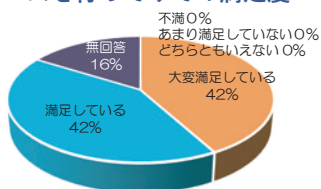
詳しくは iACP のHP で
<https://www.i-acp.org/>

I A Institute of
C P Advance Care Planning

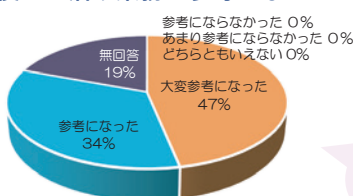
アンケートより (一部抜粋)

【もしバナゲームについて】

ゲームを行って試みた満足度



今後の生活や業務の参考になったか



自分の考えを深め、様々な事を考える機会になって、本当に良かった。

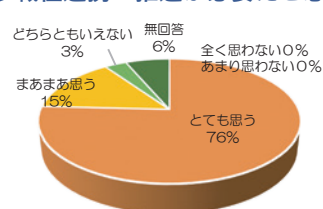
今まで意識していなかった自分の考えに気づかされた。

ゲームを通じてスムーズな意見交換ができた。

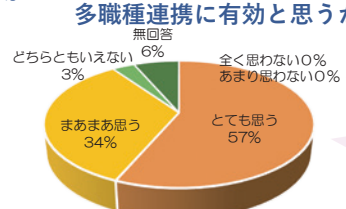
他者との価値観の違いに驚いたと同時に、新たな自分の価値観を増やせた。

【セミナー全体について】

多職種連携の推進が必要だと思うか



このようなセミナーは多職種連携に有効と思うか



こういう研修を敬遠している方もいるが、今回はとっつきやすく、参加しやすかった。

参加者の顔ぶれが固定している印象。今後は、より多くの方々が関わりを持つようになればと思う。

重い内容を楽しく話し合えるいい機会だった。交流も自然で連携が推進されたと思う。

～情報交換会での一コマ～



♥️🗨️
連携セミナー
顔の見える関係
つながり
連携センター

セミナー修了後は、飲み物とお菓子を準備し情報交換できる場を提供しました。職員手作り“映えフレーム”を使っての撮影に、皆さん笑顔で応じてくださいました。ご協力ありがとうございました。

連携センターより 今年もどうぞよろしくお祈りします



昨年は、不慣れな連携センター事業の運営に対し、格別のご理解、ご協力をはじめ、心温まるご提案やご声掛けなどいただき、誠にありがとうございました。職員一同、心から深く感謝申し上げます。本年は、昨年の事業運営を通じて見えてきた様々な課題を整理しながら、構成の見直しや内容の充実に、鋭意、取り組んでまいりますので、医療・介護関係者の皆様には、これまで通りのご支援を賜りますよう、引き続きよろしくお祈りいたします。



秋田市在宅医療・介護連携センター

〈受付時間〉月～金(祝祭日を除く)午前9時～午後5時

〒010-0976 秋田市八橋南一丁目8番5号(秋田市医師会館内)

TEL : 018-827-3636 FAX : 018-827-3614

renkei-center@acma.or.jp

<http://www.acma.or.jp/renkei/>

